

ホームステイをしながら バリ・ヒンドゥー教の新年を一緒にお祝いしよう！

BALI 農村で ニュピ体験

2020 3/20-26 を含む 1 週間前後

ニュピとは？

ヒンドゥー教のサカ暦の新年で、この日は「悪霊が去るのを瞑想して待つ静寂の日」として、一切の外出と電気や火の使用を許されません。

[プログラム概要]

インドネシア・バリ西部ジュンブラナ県プンゲラゴアン村にホームステイしながら、バリ・ヒンドゥー教のニュピを祝う宗教行事への参加をとおり、現地生活の様子を内側から体験しませんか？

観光化されていないバリの農村で、バリ・ヒンドゥー教徒の人たちと共に、ニュピ一連の儀式を「内側から」体験できるめったにない貴重な機会です。



[日程例]

- ・ムラスティの儀礼見学
- ・オゴオゴ見学
- ・ニュピ体験
- ・村の学校見学（追加オプション）
- ・バリダンス体験、伝統楽器ガムラン体験（追加オプション）

※その他追加オプション：料理教室、バリマッサージなど

[実施時期]

2020/ 3/20～26 を含む 1 週間程度

※滞在日数は変更可能（要相談）

※デンパサール国際空港集合・解散

[費用]

約4万円（航空運賃(国内移動含む)を除く）

※費用に含まれるもの：

事前研修費、村-空港間の移動費、宿泊、食事、
アクティビティ参加のための交通費、通訳料等

※オプション追加の場合は追加費用



[問い合わせ・申込み]

jr_indotama@yahoo.co.jp

[主催] 一般社団法人日本ムスリムファッション協会
学術研究・海外研修事業部

[アattend] 倉沢愛子（慶應義塾大学経済学部名誉教授）